

第2期  
白川町  
まち・ひと・しごと創生総合戦略

2021年3月

白川町



## 目 次

1. 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略について	1
2. 第1期総合戦略の検証	3
3. 第2期総合戦略の基本目標	14
4. 具体的な取り組み	27



1. 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略について

(1) 策定の背景

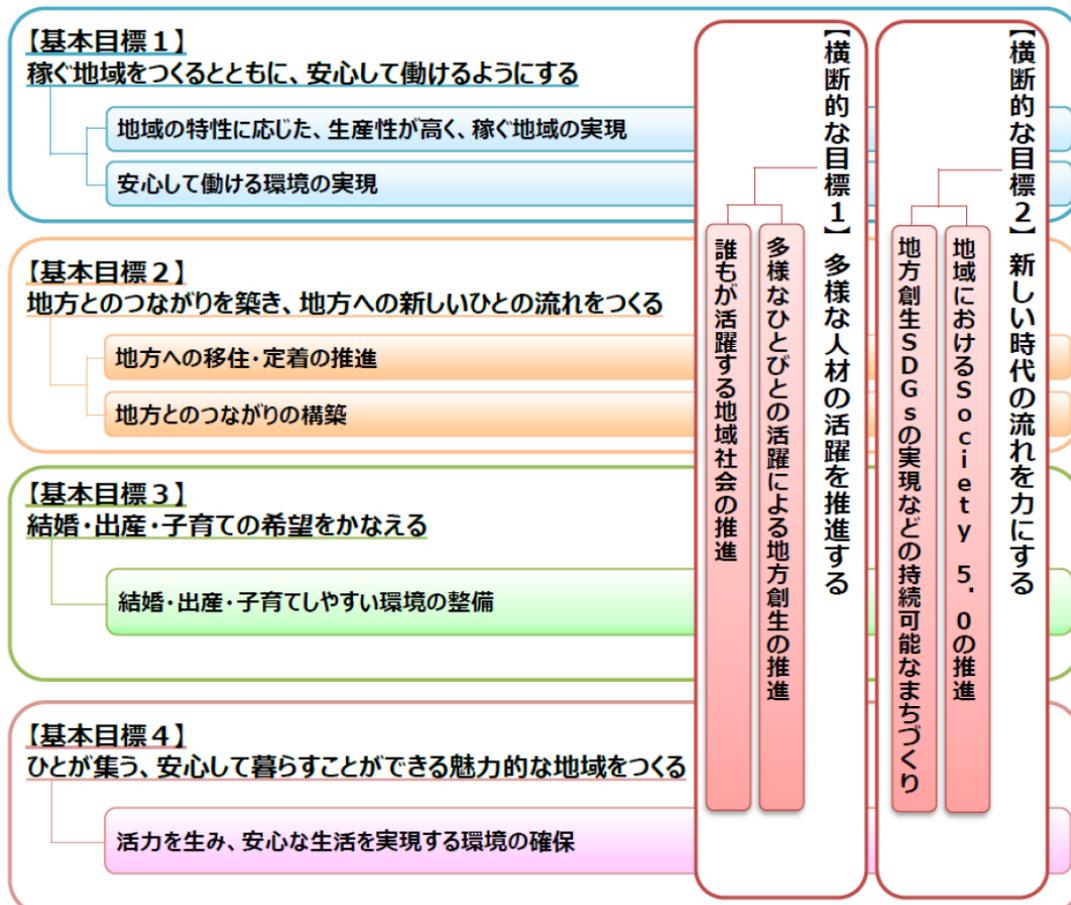
日本の総人口が減少局面に突入した中、人口減少を少しでも克服し、あわせて地方創生を実現しようと、国は2014年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を施行し、同年12月には「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン・創生総合戦略」を策定しました。白川町（以下、本町）においても、2015年度にまち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略を策定し、地方創生の取り組みを進めてきました。

国の計画期間は2019年度をもって満了を迎えるわけですが、我が国において、人口減少や東京一極集中はさらに進行しています。国は引き続き地方創生の取り組みを進めるため2019年12月に第2期まち・ひと・しごと創生長期ビジョン・創生総合戦略を策定しました。

本町においても、引き続き、人口減少や市場規模の縮小、地域活動の弱体化などの諸課題を克服するため、本町の実状を踏まえた取り組みを進めていくため、第2期白川町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、第2期総合戦略）を策定します。

(2) 国の施策の方向性

国は、将来にわたって「活力ある地域社会」の実現と、「東京圏への一極集中」の是正を共に目指すため、第1期の成果と課題等を踏まえて、第1期「総合戦略」の政策体系を見直し、以下のとおり、次の4つの基本目標と2つの横断的な目標の下に取り組むこととしています。



(3) 白川町第2期総合戦略の策定の方向性

第2期総合戦略の策定にあたっては、2020年度に計画期間の満了を迎える本町の最上位計画である総合計画との整合性を図るため、現総合戦略の計画期間を1年延長することとしました。

その上で、第2期総合戦略は第6次総合計画の重点戦略に位置づけ、2021年度から2024年度の計画で施策の方向性や目標を設定することとします。

推進にあたっては、具体的な施策ごとに重要業績評価指標（KPI）を設定し、町民・有識者等を中心とした検証委員会において各施策の効果検証・改善を行う仕組みを構築します。

第6次総合計画・第2期総合戦略 体系図



(4) 人口の見通し

人口ビジョン（改訂版）で示した通り、国立社会保障・人口問題研究所によると、2015年に8,392人であった人口は、2040年に4,130人、2065年に1,385人と推計されています。出生率の上昇、社会移動の増加により、2040年には4,868人、2065年には2,643人を目指していきます。

2. 第1期総合戦略の検証

(1) 第1期総合戦略の概要

第1期総合戦略では、4本の基本目標の下112の事業（うち重点事業48）に取り組んできました。

**基本的視点**

将来的な町の総人口の減少は避けられない中、基礎自治体としての機能を維持し、また、地域の活力を向上させるため、次の2つの視点から人口減少に挑戦します。

①「しごとをつくる」  
町内への通勤者が多い本町においては、内発的産業の創出・育成により、地域での仕事（なりわい）を創りだすといった視点が重要となります。

②「ひとを育てる」  
地域での仕事があっても、地域で働く人がいないと持続可能性のある地域となりません。そのため、地域で働くための技を伝えるといった支援が必要となります。また、児童・生徒に対する地域教育を地域全体で進めることで、将来の本町の担い手となる人材を育てるといった中長期的な視点も重要となります。

**計画期間**

**2015年～2020年** の6年間とします。

**推進体制**

① **PDCAサイクルの構築**  
具体的な施策ごとに重要業績評価指標（KPI<sup>※</sup>）を設定し、これらによって各施策の効果検証・改善を行う仕組み（PDCAサイクル）を構築します。

② **住民参加による推進**  
町民・有識者等を中心とした会議体を設け、達成度の検証を実施します。

※KPI（Key Performance Indicators）は、目標の達成度合いを計る定量的な（数値で表す）指標のこと

**目指すべき方向性の柱**

**1. しらかわの宝ものをしごとに変える**  
近隣自治体との通勤移動が少ない本町においては、内発的産業を育成することにより、地域でのしごと（なりわい）を創りだすことが必要となります。そのためには、森林や河川などの豊かな自然、お茶やトマトなどの農業といった地域資源を活用し、また、ITや設計等の地域に縛られないしごとにより、地域で働くための技を伝える施策が必要です。起業・就業支援に対して十分な支援を行い、挑戦できる場所を提供していきます。

**2. しらかわへ行こう・しらかわへ帰ろう**  
移住・定住を推進するための体制を整備し、「白川に住みたい」「白川に戻りたい」という人の増加と実現のための障壁を取り除く取り組みを進めます。  
白川町の強みである豊かな自然を活かした魅力ある観光を推進するため、町内の観光資源の発掘・充実・連携を図るとともに、周辺自治体とも連携し広域観光を進め、交流人口の拡大を図っていきます。また、できるだけ多くの人に、さまざまな形で本町に関わってもらい、その過程で白川ファンの増加を図っていきます。

**3. しらかわ人（びと）を育み しらかわを未来に伝える**  
将来の地域の担い手となる小中高生に対する地域教育も重要と考えます。「ふるさと教育」を通じ、多くの人や自然、歴史、文化などへの関わりを深めることで郷土愛の醸成を図ります。その上で地域の課題にしっかりと向き合い、地域に対して何ができるかを自分なりに考え、この白川の地で仕事を創出することができる「しらかわ人（びと）」を育てていきます。  
また、子ども達だけでなく、地域住民一人一人が地域の抱える課題に向き合い、何ができるかを考えていくことにより、地域の活力を生み出していきます。そうした取り組みを継続することで、白川の魅力を高めること、白川の地で仕事が生まれること、白川に人が集まることにつなげていきます。

**4. しらかわで あんきに子育て・あんきに暮らす**  
人口減少は当面避けられない現実です。子どもや高齢者、障がい者など地域で生活を営むあらゆる人が安心して生活できる環境づくりをソフト、ハード両面で進めていきます。

第1期戦略の事業一覧

<b>主な施策</b>	
<p><b>1. しらかわの宝ものをしごとに変える</b></p> <p>施策①地域資源（緑）を活用した産業振興</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 美濃白川茶の国内・海外販路開拓</li> <li>2 ふるさとの恵みを使った特産品づくり</li> <li>3 豊富な緑の活用</li> </ol> <p>KPI ・美濃白川茶輸出量の全体出荷量に占める割合 …1.81%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就業者数…3,800人</li> <li>・就業者数（うち農林業）…350人</li> <li>・町内総生産（一人当たり）…2,830千円</li> </ul> <p>施策②挑戦できる場の提供（起業支援）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 有機農業の推進</li> <li>2 みんなのチャレンジ支援</li> <li>3 IT環境・しごと環境の整備支援</li> <li>4 働きたくなる情報の集約・発信</li> </ol> <p>KPI ・新規就農者数…10人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規起業家数…15人</li> <li>・新規起業家数（うち女性）…5人</li> </ul> <p><b>2. しらかわへ行こう・しらかわへ帰ろう</b></p> <p>施策①移住やUターンの促進</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 移住・交流の推進</li> <li>2 地域人材のふるさと定着促進</li> <li>3 移住・定住用住宅の整備</li> <li>4 ふるさととつながる人口の増加</li> </ol> <p>KPI ・転入転出の差…△64人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Uターン者数…100人</li> <li>・関係人口(移住者支援事業利用者+相談者)…300人</li> </ul> <p>施策②交流人口の拡大・白川ファンの増加</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 記憶に残す白川の里の創造</li> <li>2 外国人にやさしい観光の振興</li> <li>3 白川町プロモーションの推進</li> <li>4 既存観光施設の魅力向上</li> <li>5 川の達人・森の達人・畑の達人養成塾</li> <li>6 しらかわ連携</li> </ol> <p>KPI ・町内観光入込客数…342,200人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人入込客数…260人</li> </ul>	<p><b>3. しらかわ人(ひと)を育み しらかわを未来に伝える</b></p> <p>施策①地域人材の育成・地域教育の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 清流白川への回帰</li> <li>2 子どものまちづくり参加塾</li> <li>3 大学との連携による人材育成</li> <li>4 少人数のメリットを最大限活かす特色ある教育活動の推進</li> <li>5 地域への愛着と誇りを育てるふるさと教育の推進</li> <li>6 木育の推進</li> </ol> <p>KPI ・地域行事への参加率(社会参加率)…小学生 100% 中学生 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会への関心…小学生 95% 中学生 85%</li> </ul> <p>施策②地域コミュニティ活動の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 みんなで地域をつくるまち</li> <li>2 地域コミュニティの交流拠点の創造</li> <li>3 地域を守るきずなの強化・支援</li> </ol> <p>KPI ・地域づくり組織の組成数…100</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館利用者数…66,500人</li> </ul> <p><b>4. しらかわで あんきに子育て・あんきに暮らす</b></p> <p>施策①生活支援（子育て支援・高齢者支援）の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 世界一子どもが幸せなまちづくり</li> <li>2 高齢者が安心して暮らせるまちづくり</li> <li>3 出会いサポートの推進</li> </ol> <p>KPI ・子育て世代の満足度…66.7%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者世代の満足度…8.0</li> <li>・出生数…48人</li> <li>・要介護認定率…15.9%</li> </ul> <p>施策②生活基盤の見直し・整備・拡充</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域の社会教育施設等の機能強化、見直し</li> <li>2 公共交通等の地域の足の確保</li> <li>3 森林を活かした拠点整備</li> <li>4 安心を感じられる基盤づくり</li> </ol> <p>KPI ・社会教育施設の利用者数…100,000人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバス・オンデマンドタクシーの利用者数…18,000人</li> <li>・中高生を含む世帯の転出数…0世帯</li> </ul>

## (2) 第1期総合戦略の評価結果

## ・KPIの達成状況

## 基本目標1 しらかわの宝ものをしごとに変える

## 施策①：地域資源（緑）を活用した産業振興

重要業績評価指標（KPI）	目標値	基準値	実績値
美濃白川茶輸出量の全体出荷量に占める割合	1.81%	－	0.50%
就業者数*	3,800人	4,512人	4,252人
就業者数（うち農林業）*	350人	388人	447人
町内総生産**（一人当たり）	2,830千円	2,209千円	2,398千円

目標値は最終年度数値

\*国勢調査、\*\*市町村民経済計算

## 施策②：挑戦できる場の提供（起業支援）

重要業績評価指標（KPI）	目標値	基準値	実績値
新規就農者数	10人	1人	9人
新規起業者数	15人	1人	5人
新規起業者数（うち女性）	5人	1人	2人

基準値は平成26年度実績 目標値は6年間の合計人数

## 基本目標2 しらかわへ行こう しらかわへ帰ろう

## 施策①：移住やUターンの促進

重要業績評価指標（KPI）	目標値	基準値	実績値
転入転出の差*	△64人	△124人	△103人
Uターン者数**	100人	－	5人
関係人口（移住者支援事業利用者＋相談者）**	300人	－	347人

\*基準値は平成26年度実績 目標値は最終年度数値、\*\*目標値は6年間の合計人数

## 施策②：交流人口の拡大・白川ファンの増加

重要業績評価指標（KPI）	目標値	基準値	実績値
町内観光入込客数	342,200人	313,082人	289,732人
外国人入込客数	260人	－	－

基準値は平成26年度実績 目標値は最終年度数値

基本目標 3 しらかわ人（ひと）を育み しらかわを未来に伝える

施策①：地域人材の育成・地域教育の充実

重要業績評価指標（KPI）	目標値	基準値	実績値
地域行事への参加率（社会参加率）	小学生 100%	小学生 100%	小学生 98%
	中学生 100%	中学生 86%	中学生 97%
社会への関心	小学生 95%	小学生 85%	小学生 61%
	中学生 85%	中学生 55%	中学生 47%

基準値は平成27年度実績 目標値は最終年度数値  
 国立教育政策研究所「学力学習状況調査」（小学6年生と中学3年生）

施策②：地域コミュニティ活動の推進

重要業績評価指標（KPI）	目標値	基準値	実績値
地域づくり組織の組成数	100	87	87
公民館利用者数	66,500人	58,642人	54,002人

基準値は平成26年度実績 目標値は最終年度数値

基本目標 4 しらかわで あんきに子育て あんきに暮らす

施策①：生活支援（子育て支援・高齢者支援）の充実

重要業績評価指標（KPI）	目標値	基準値	実績値
子育て世代の満足度*	66.70%	28.20%	53.90%
高齢者世代の満足度**	8	7.4	15
出生数	48人	41人	24人
要介護認定率***	15.90%	14.20%	14.30%

基準値は平成26年度実績 目標値は最終年度数値  
 \*子ども子育てアンケート（5段階評価4と5の割合（無回答除く））  
 \*\*幸福感アンケート（70歳以上、10段階評価 1：とても不幸 10：とても幸福 無回答除く）  
 \*\*\*要介護認定率（平成27年度実績により保健福祉課が推計する平成31年度末数値は16.7%）

施策②：生活基盤の見直し・整備・拡充

重要業績評価指標（KPI）	目標値	基準値	実績値
社会教育施設の利用者数	100,000人	90,900人	73,086人
コミュニティバス・オンデマンドタクシーの利用客数	18,000人	0人	47,704人
中高生を含む世帯の転出数	0世帯	8世帯	4世帯

基準値は平成26年度実績 目標値は最終年度数値

・総合戦略に掲載した事業の一覧及び取組状況（黄色セルは第1期総合戦略に掲げた事業）

○ 実施  
 - 未実施  
 ○ 継続、△R3着手予定  
 - 未定、×やらない方向

事業名	内容等	R2年度 実施状況	今後の 展望	所管課/連 携課
<b>基本目標 1 しらかわの宝ものしごとに変える</b>				
<b>施策1 地域資源（緑）を活用した産業振興</b>				
<b>1 美濃白川茶の国内・海外販路開拓</b>				
美濃白川茶の国内・海外販路開拓事業	近隣町村と協力し、美濃白川茶のブランド化を進め、海外も視野に入れた販路拡大戦略を展開	○	○	農林課
<b>2 ふるさとの恵みを使った特産品づくり</b>				
学校給食地産地消推進	学校給食での県内産、地場産食材の使用量の増加を図る。	○	○	教育課
特産品開発事業（六次産業化推進）	町内産大豆・有機栽培による食材と白川の水を使ったスイーツなどの開発、飛騨川流域産の鮎や佐見の錦鯉養殖技術を活かし食用鯉の商品開発を図る。	○	○	農林課/企画課
<b>3 豊富な緑の活用</b>				
町有林整備事業	利用間伐や再造林など地域のモデルとなるような事業に積極的に取り組み、木材有効活用および環境保全につとめる。	○	○	農林課
間伐材全量搬出事業	利用間伐の推進と環境保全のため、森林組合が主体となり、間伐材を全量（A、B、C材）搬出、仕分する事業へ支援	○	○	農林課
産直住宅建設・普及事業	白川町産材や岐阜県産材の利用促進のため行うPR活動や事業を実施	○	○	農林課
循環型森林社会構築事業	未利用の森林資源の有効活用をはかるための研究や、実証モデル事業、広域連携も含めたブランド化の推進に取り組む。	○	○	農林課
しらかわ材利活用事業	地域材を使用した木工品の立案、政策等の支援	○	○	農林課
農商工連携経済循環事業	遊休農地を活用した高齢者の生きがいづくりと地域内経済循環の構築、農業者以外が農に関わる機会の創出などの研究・実践に取り組む団体を支援	-	-	農林課/企画課・保健福祉課
<b>施策2 挑戦できる場の提供（起業支援）</b>				
<b>1 有機農業の推進</b>				
有機農業推進体制強化事業	NPOによる就農相談体制づくり、就農者サポート体制づくり、就農希望者への研修体制、就農後のサポート体制の整備を推進	○	○	農林課
<b>2 みんなのチャレンジ支援</b>				
女性のチャレンジ支援事業	女性起業講座開催、スモールビジネスチャレンジ交付金等により、女性の新しいしごとの開拓を支援	○	○	企画課
町民出資型事業の展開、組織の育成	住民出資会社を設立しまちづくり事業を展開することで、町を良くしようとする住民を掘り起こしと必要な支援	-	-	企画課
<b>3 IT環境・しごと環境の整備支援</b>				
小規模企業者の支援及び誘致	中小企業の企業誘致を推進し、企業支援を拡充	○	○	企画課
IT環境・しごと環境の整備支援	光ファイバー網を活用した設計、デザイン等大容量かつ高速インターネット回線を必要とする事業者の誘致や起業を促進	-	-	企画課
起業支援奨励金支給事業	小規模の起業や町外から移って創業する場合等に事務所・工場の初期投資費用や従業員寮整備費の一部を助成	○	○	企画課
小規模起業業者支援融資利子補給事業	小規模企業者が融資を受けたとき利子補給を行う	○	○	企画課
<b>4 働きたくなる情報の集約・発信</b>				
自主放送制作放映委託事業	ケーブルテレビによる自主放送制作を活用し、従来の町の話題などの情報番組に加え、しごと情報の発信	○	○	企画課
ふるさと就業情報提供事業	商工会、ハローワークと連携し、就業希望者が、しごと情報を簡単に入手できる仕組みをつくり、学生向けの町内企業限定就職説明会を開く	○	○	企画課

○ 実施  
 - 未実施  
 ○ 継続、△ R3着手予定  
 - 未定、× やらない方向

事業名	内容等	R2年度 実施状況	今後の 展望	所管課/連 携課
<b>基本目標2 しらかわへ行こう しらかわへ帰ろう</b>				
<b>施策1 移住やUターンの促進</b>				
<b>1 移住・交流の推進</b>				
農林業体験の推進	茶摘み・手揉み体験など農業体験、間伐などの林業体験を通して、本町の魅力を情報発信することにより交流・移住人口の増加を図る。	○	○	農林課/企画課
名古屋圏域との交流促進	第2次みのかも定住自立圏構想に基づき、平成31年度まで実施(宿泊ツアー導入)	-	-	企画課
移住交流サポートセンターの運営	都市部からのIUJターンの移住相談窓口として移住関連の情報発信、各種サポートを実施することにより移住を推進	○	○	企画課
消費者と生産者の交流	NPO法人、有機農業者を中心に消費者との交流会を開催し、本町の魅力を情報発信することにより交流人口の増加を図る。	○	○	企画課/農林課
<b>2 地域人材のふるさと定着促進</b>				
地域人材のふるさと定着促進事業	大学、短大等の奨学金返還金を助成し、IUJターンによる若い人材の確保を図る。	○	○	企画課
保健技術者養成修学資金	町内就業医療従事者を確保するため修学資金の貸付け	○	○	保健福祉課
<b>3 移住・定住用住宅の整備</b>				
農園付きコテージの活用	農園付きコテージの活用により、本町の魅力を情報発信することにより交流・移住人口の増加を図る。	○	○	企画課
空き家バンクと移住定住者用住宅の整備	空き家バンクの運営及び移住者に対する住宅家賃、改修費用の補助等により、住まいに関する支援を図る。	○	○	企画課
水源の里住宅新築支援事業	定住につながる住宅新築や取得を支援する。子育て世代に対する補助金加算など制度の充実を図る。	○	○	企画課
農地付き宅地分譲	農地付き宅地の分譲により、移住者を増加させ、人口の増加を図る。	-	×	企画課/農林課
移住者定住者支援補助事業	空き家の家賃補助、改修費補助等を行う。移住定住を一層推進するため、空き家の買い取りと改修を行い、移住者向けに斡旋、一定期間後に無償譲渡するなど空き家を有効活用した住宅の整備や空き家の解体費を助成することで、未利用空き家を更地として提供できるような取り組みも検討	-	△	企画課
<b>4 ふるさととつながる人口の増加</b>				
美濃白川ふるさと会の活動促進	町外在住の白川町出身者の会の活動を活発化し、ふるさとしらかわを考える機会をつくる。同窓会における勧誘など新規会員の加入を推進	○	○	企画課
同窓会開催奨励事業	ふるさとを離れた人達が集う同窓会などの機会を活用し、ふるさとの魅力を再認識してもらい、ふるさととのつながりを強化、関係人口の増加につなげる。	○	○	企画課
成人祝賀事業	成人式をきっかけに今の町の課題やふるさとの良さを再確認し、Uターンや町の未来を考える機会の場とする。	○	○	教育課

○ 実施  
- 未実施  
○ 継続、△ R3着手予定  
- 未定、× やらない方向

事業名	内容等	R2年度 実施状況	今後の 展望	所管課/連 携課
<b>施策2 交流人口の拡大・白川ファンの増加</b>				
<b>1 記憶に残す白川の里の創造</b>				
まご・まご・ふるさと留学事業	町内に祖父母がいる町外の小学生（孫）に対して、夏休みに山村留学を行うなど、白川の自然と人情を強烈に心に刻ませ、将来的な「まごターン」につなげていく。	○	○	企画課
<b>2 外国人にやさしい観光の振興</b>				
外国人にやさしい観光の推進	外国語表記による案内表示や観光パンフレット、ホームページを作成、無料公衆無線LAN（Wi-Fi）を整備し、外国人観光客の利便性向上を図る。	○	○	企画課
<b>3 白川町プロモーションの推進</b>				
美濃白川四季彩街道の観光ルート整備	四季を彩る景色・美味しい料理・色々なイベントを通して美濃白川四季彩街道の魅力をSNSなどを利用して発信	○	○	企画課
天体観測（星空を活かした観光、イベント）	町内は天体観測ができる場所が多数あり、星空の美しさをPRし、町の魅力発信につなげ、町内イベントをPR	-	×	企画課
町PR及び産品販売Webサイト構築事業（町内商業買い物支援サービス、広告サービス）	プロモーション映像の配信や町内の特産品のPRを兼ねたショッピングサイトの構築に向けた調査研究、ふるさと納税サイトの運営	○	○	企画課
移住者向けの情報発信のHP,FBの設置	ケーブルTV、SNS、インターネット等を活用し、本町のプロモーション活動を推進します。その中で、本町のキャッチコピーも考えていきます。	-	-	企画課
<b>4 既存観光施設の魅力向上</b>				
食肉加工販売施設・ジビエレストラン整備	食肉加工販売施設、ジビエレストランを整備することにより、捕獲したイノシシ、シカの食肉としての有効活用を図る。	-	-	農林課
ピアチェーレ温泉施設整備、周遊歩道整備	ピアチェーレ及び道の駅温泉の利用者を増やすため、集客を図り、野原城跡や葛牧茶園、安産神社などを周遊できるコースをPRして利用客の増加につなげる。	○	○	企画課
パイオルガン維持管理事業	イタリアオルガン音楽アカデミーや一般の方の参加による初心者向けの講座や公民館講座での活用のほか、旅行者による見学も増えており、貴重な観光資源として、また、町の宝ものとしても活用を図る。	○	○	教育課・企画課
道の駅経営改善事業	「道の駅」のあり方を再検討し、情報発信拠点、地域連携拠点としての「道の駅」等の魅力を高める。	○	○	企画課
<b>5 川の達人・森の達人・畑の達人養成塾</b>				
観光農業、体験農業	観光農園、体験農園の開設により、本町の魅力を情報発信するとともに、特産品のPRをすることにより交流・移住人口の増加、消費の拡大を図る。	-	-	農林課/企画課
山・川を利用した観光（トレッキング、ラフティング、川下り）	自然を活かし、飛騨川沿いの風光明媚な景色を楽しめるラフティングや、トレッキングなど、町内NPO団体が中心となり事業を実施	○	○	企画課
川の達人養成塾事業	四季折々の白川町の川・森・畑の魅力を体験してもらうことで、新たな魅力を発見し、交流人口の増加につなげる。	-	-	企画課
<b>6 しらかわ連携</b>				
しらかわ連携	「しらかわ」の認知度を高め、「しらかわファン」の増加につなげる。白川流域の魅力を高めるため、観光、産業、行政が広域連携することにより、技術交流と共同研究を促進し、特産品の開発、販路拡大と雇用創出を図る。	-	-	企画課・農林課

○ 実施  
 - 未実施  
 ○ 継続、△R3着手予定  
 - 未定、×やらない方向

事業名	内容等	R2年度 実施状況	今後の 展望	所管課/運 携課
<b>基本目標3 しらかわ人（びと）を育み しらかわを未来に伝える</b>				
<b>施策1 地域人材の育成・地域教育の充実</b>				
<b>1 清流白川への回帰</b>				
清流白川への回帰事業	町内の小学生に対し、伝統行事、遊びを通じた体験活動を行い郷土愛の醸成を図る。	○	○	企画課/教育課
自然体験・交流事業	未来のふるさと美濃白川を愛する人材の育成には、子どもの頃からの環境教育が必要であり、山林や河川の保護などの活動しているどんぐり会を始めとしたNPO活動団体や森林組合、各地区営農組合等の連携により公民館講座等を活用しての自然体験活動を実施	○	○	教育課・企画課・農林課/建設環境課
<b>2 子どものまちづくり参加塾</b>				
子ども議会の開催・美濃白川子どもまちづくり塾事業	子ども議会の開催等により地域の課題に向き合うことで、本町を担う人材の育成を図る。	○	○	教育課/企画課
<b>3 大学との連携による人材育成</b>				
大学等との連携による人材確保・域学連携事業	白川町をキャンパスとして、農林業人材の育成を推進	-	×	農林課/企画課
子ども起業体験事業（早期起業家育成事業）	小中高生がものづくりや流通、小売りを体験する起業体験プログラムを実施	○	○	企画課/教育課
<b>4 少人数のメリットを最大限活かす特色ある教育活動の推進</b>				
I C Tの活用による教育の質の向上	学校に電子黒板やタブレット端末を配置し、授業のユニバーサルデザイン化等を推進するなど、I C T機器を活かして教育の質の向上を図る。	○	○	教育課
少人数指導教育の推進	少人数ならではのきめ細やかな教育により、「その子のよさ」や「その子らしさ」を見つけ伸ばす教育を推進	○	○	教育課
特色ある教育活動事業	小中学校が、それぞれ特色ある教育活動を推進するため、その実践にかかる経費を補助	○	○	教育課
文化事業振興	町民の心の豊かさの向上を図るためには、本物のプロの演奏や作品、講演に触れる機会を提供し、特に小中学校生の情操教育の一環としても大きな意義がある小・中学生芸術鑑賞教室では、古典落語、管弦楽、ミュージカル等幅広い芸術と触れ合う機会を提供することで、多感期にある子ども達の育成を図る。	○	○	教育課
<b>5 地域への愛着と誇りを育てるふるさと教育の推進</b>				
青少年育成事業	子ども達が地域社会の一員として積極的に活動できる環境作りのため、青少年健全育成大会の開催や各地区青少年推進協議会と連携し、啓発標語の募集、あいさつ運動、地域伝統行事の継承活動などを行う。	○	○	教育課
青少年交流・リーダー育成事業	単位子ども会の存続が難しくなっている現代において地区を超えた活動を行えるよう行政支援や連絡協議会での連携を模索し対応を図るほか、ジュニアリーダースクラブの活動が活発化できるよう研修機会を増やすなど組織運営の支援	○	○	教育課
青雲のつどい実施事業	親元を離れ共同生活を行うことで、現在の生活に感謝し、自己を見つめ直し、将来を考える機会を与える有意義な事業であり、参加した子ども達の立志の芽が健やかに成長できるよう支援を図る。	○	○	教育課
社会教育活動事業	現代の豊かな生活と引き換えに薄れ掛かっている家族や地域の絆、仲間意識などの道徳に代表される社会教育の基本的な姿勢を町民や子ども達にもう一度考えて頂けるよう社会教育主事や社会教育委員を設置し、啓発活動や地域集会、活動を支援	○	○	教育課
家庭教育学級推進事業	家庭及び地域の教育力の向上により心身とも健全な子どもの成長を促すため、公立学校と連携し、各地区14学級で研修会・視察等を開催し保護者の教育に努める。	○	○	教育課
図書館運営事業	平成26年に「読書のまち宣言」を行い、読書を通じた教育を推進するため公立図書館である美濃白川楽集館の管理運営を図るほか各小・中学校図書館とも連携し読書を通じた教育の推進を図る。	○	○	教育課
文化財保護事業	新たな文化財の調査、研究及び発掘を実施し宝物として未来に伝える事業のほか、現存する価値ある文化財の多くは個人の所有に委ねられており、その保存や維持管理についても行政的支援を図る。	○	○	教育課
<b>6 木育の推進</b>				
木育のすすめ	森をフィールドにイベントを開催。様々な形で木と関わる機会を提供し、森林の大切さを学ぶ。	○	○	農林課/教育課・企画課

事業名	内容等	R2年度 実施状況		今後の 展望	所管課/連 携課
		○ 実施 - 未実施	○ 継続、△R3着手予定 - 未定、× やらない方向		
<b>基本目標3 しらかわ人（びと）を育み しらかわを未来に伝える</b>					
<b>施策1 地域人材の育成・地域教育の充実</b>					
<b>1 清流白川への回帰</b>					
清流白川への回帰事業	町内の小学生に対し、伝統行事、遊びを通じた体験活動を行い郷土愛の醸成を図る。	○	○		企画課/教育課
自然体験・交流事業	未来のふるさと美濃白川を愛する人材の育成には、子どもの頃からの環境教育が必要であり、山林や河川の保護などの活動しているどんぐり会を始めとしたNPO活動団体や森林組合、各地区営農組合等の連携により公民館講座等を活用しての自然体験活動を実施	○	○		教育課・企画課・農林課/建設環境課
<b>2 子どものまちづくり参加塾</b>					
子ども議会の開催・美濃白川子どもまちづくり塾事業	子ども議会の開催等により地域の課題に向き合うことで、本町を担う人材の育成を図る。	○	○		教育課/企画課
<b>3 大学との連携による人材育成</b>					
大学等との連携による人材確保・域学連携事業	白川町をキャンパスとして、農林業人材の育成を推進	-	×		農林課/企画課
子ども起業体験事業（早期起業家育成事業）	小中高生がものづくりや流通、小売りを体験する起業体験プログラムを実施	○	○		企画課/教育課
<b>4 少人数のメリットを最大限活かす特色ある教育活動の推進</b>					
I C Tの活用による教育の質の向上	学校に電子黒板やタブレット端末を配置し、授業のユニバーサルデザイン化等を推進するなど、I C T機器を活かして教育の質の向上を図る。	○	○		教育課
少人数指導教育の推進	少人数ならではのきめ細やかな教育により、「その子のよさ」や「その子らしさ」を見つけ伸ばす教育を推進	○	○		教育課
特色ある教育活動事業	小中学校が、それぞれ特色ある教育活動を推進するため、その実践にかかる経費を補助	○	○		教育課
文化事業振興	町民の心の豊かさの向上を図るためには、本物のプロの演奏や作品、講演に触れる機会を提供し、特に小中学校生の情操教育の一環としても大きな意義がある小・中学生芸術鑑賞教室では、古典落語、管弦楽、ミュージカル等幅広い芸術と触れ合う機会を提供することで、多感期にある子ども達の育成を図る。	○	○		教育課
<b>5 地域への愛着と誇りを育てるふるさと教育の推進</b>					
青少年育成事業	子ども達が地域社会の一員として積極的に活動できる環境作りのため、青少年健全育成大会の開催や各地区青少年推進協議会と連携し、啓発標語の募集、あいさつ運動、地域伝統行事の継承活動などを行う。	○	○		教育課
青少年交流・リーダー育成事業	単位子ども会の存続が難しくなっている現代において地区を超えた活動を行えるよう行政支援や連絡協議会での連携を模索し対応を図るほか、ジュニアリーダーズクラブの活動が活発化できるよう研修機会を増やすなど組織運営の支援	○	○		教育課
青雲のつどい実施事業	親元を離れ共同生活を行うことで、現在の生活に感謝し、自己を見つめ直し、将来を考える機会を与える有意義な事業であり、参加した子ども達の立志の芽が健やかに成長できるよう支援を図る。	○	○		教育課
社会教育活動事業	現代の豊かな生活と引き換えに薄れ掛かっている家族や地域の絆、仲間意識などの道徳に代表される社会教育の基本的な姿勢を町民や子ども達にもう一度考えて貰えるよう社会教育主事や社会教育委員を設置し、啓発活動や地域集会、活動を支援	○	○		教育課
家庭教育学級推進事業	家庭及び地域の教育力の向上により心身とも健全な子どもの成長を促すため、公立学校と連携し、各地区13学級で研修会・視察等を開催し保護者の教育に努める。	○	○		教育課
図書館運営事業	平成26年に「読書のまち宣言」を行い、読書を通じた教育を推進するため公立図書館である美濃白川楽集館の管理運営を図るほか各小・中学校図書館とも連携し読書を通じた教育の推進を図る。	○	○		教育課
文化財保護事業	新たな文化財の調査、研究及び発掘を実施し宝物として未来に伝える事業のほか、現存する価値ある文化財の多くは個人の所有に委ねられており、その保存や維持管理についても行政的支援を図る。	○	○		教育課
<b>6 木育の推進</b>					
木育のすすめ	森をフィールドにイベントを開催。様々な形で木と関わる機会を提供し、森林の大切さを学ぶ。	○	○		農林課/教育課・企画課

○ 実施  
 - 未実施  
 ○ 継続、△ R3着手予定  
 - 未定、× やらない方向

事業名	内容等	R2年度 実施状況	今後の 展望	所管課/連 携課
<b>基本目標4 しらかわで あんきに子育て あんきに暮らす</b>				
<b>施策1 生活支援（子育て支援・高齢者支援）の充実</b>				
<b>1 世界一子どもが幸せなまちづくり</b>				
妊娠～育児までの健康相談、健診の推進	妊娠中の保健指導・相談、訪問乳幼児健診により、子どもと母親にやさしい保健体制を推進	○	○	保健福祉課
妊婦健康診査費助成事業	子どもを産み育てていく妊婦の負担軽減のため費用を助成	○	○	保健福祉課
新生児聴覚検査費用助成	健康な乳幼児の発育のため費用を助成	○	○	保健福祉課
特定不妊治療費助成	特定不妊治療費用を助成	○	○	保健福祉課
町内医療機関の充実と存続	医療機関の存続、専門医の確保や設備の充実にに向けた支援体制を維持	○	○	保健福祉課
出産育児給付金	未来の地域づくりを担う子どもの出生と健やかな成長を願うため出産のお祝いと育児に対する応援金として給付	○	○	町民課
中学校卒業まで医療費無料化	乳幼児から中学校まで、医療費の個人負担をなくし、子育て世代を支援	○	○	保健福祉課
保育の充実（特別保育等）	障がい保育、延長保育、一時預かり保育、病後児保育等により子育て世帯を支援	○	○	教育課
子育て支援センター事業（子育て支援機能の充実・子育て相談等）	子育て支援センターちびっこひろば（白川北保育園内）を設置し、親子の友達づくり・交流の場を提供	○	○	教育課
児童家庭相談事業（発達相談・児童虐待防止）	子育ての悩み・子どもの発達等子育て全般の相談が受けられる体制を整備	○	○	教育課
町営住宅家賃補助	子育て世代の経済的負担の軽減策として支援	○	○	建設環境課
コミュニティママ子育てサポート事業	仕事や子育てをしている保護者が安心して子どもを産み育てることができるよう地域で子育てを助け合う。	○	○	教育課
子ども家庭総合支援拠点事業	要保護児童対策地域協議会の調整機関である子育て支援係に専門職を配置し児童虐待防止を図る。（H29.4.1～義務化）	○	○	教育課
<b>2 高齢者が安心して暮らせるまちづくり</b>				
心の健康相談委託、窓口紹介	住民の心の健康を守るためメンタルヘルス全般に関する相談業務を実施	○	○	保健福祉課
健康づくり推進事業	健康寿命を延ばす為の健康教育、個別相談、健康診査を実施	○	○	保健福祉課
遠隔医療システム導入事業	I C Tシステムを活用したシステムを検討	-	-	保健福祉課 / 企画課
福祉技術者養成修学資金	町内の福祉技術者確保のため、研修会参加による資格取得希望者に補助金交付を実施	-	-	保健福祉課
配食サービス	見守りを兼ね高齢者世帯・独居世帯に対して栄養バランスのとれた食事を提供	○	○	保健福祉課
高齢者世帯見守り事業	社会福祉協議会のあんしん電話の活用や、配食サービスでの見守り、近隣の声かけなど地域での共助などを推進	○	○	保健福祉課
認知症施策の推進（認知症施策推進大綱の推進）	認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けることができるための地域づくり。地域ケアシステムの構築	○	○	保健福祉課
ヘルパー資格取得（60歳以上）斡旋育成事業	60歳以上の方のヘルパー資格取得を支援し、高齢者世帯を地域全体で見守る。	-	-	保健福祉課
<b>3 出会いサポートの推進</b>				
結婚対策推進事業	出会いの機会を増やす。町内女性を対象としたイベント等の開催、コミュニケーション能力開発の推進、若年層の同窓会奨励、ママプラン婚活ツアー開催等を行う。	○	○	企画課

事業名	内容等	R2年度		所管課／連携課
		実施状況	今後の展望	
<b>施策2 生活基盤の見直し・整備・拡充</b>				
<b>1 地域の社会教育施設等の機能強化、見直し</b>				
スポーツレクリエーションによる交流	多種多様なスポーツ競技、サークルとして活動する軽スポーツのほか、高齢化する町民の体力・健康維持には総合型スポーツクラブによる教室の開催やスポーツ環境の整備は必要不可欠であり、医療機関や保健福祉課などの連携を始めとした行政支援を図る。	○	○	教育課
公民館活動推進事業	公民館での講座などを中心に、時代とニーズにマッチした学びの場を提供し、身に付けた知識、技術を広める機会の創出を図る。	○	○	教育課
スポーツ振興事業	スポーツを通じたまちづくり、人材育成を進めるため、町スポーツ推進委員、各地区スポーツ推進員が中心となって地域スポーツを盛り上げ、地域コミュニティの醸成を図る。	○	○	教育課
<b>2 公共交通等の地域の足の確保</b>				
移動販売・宅配支援の調査研究	商工会が主体となり、買い物支援対策に対する組織づくりを検討	-	-	企画課／保健福祉課
公共交通対策の推進	従来の路線バス対策にとどまらず、通学、通院、交通弱者、買物弱者の支援など、教育、福祉などあらゆる面から暮らす人々にとって役に立つ新しい公共交通のありかたを検討	○	○	企画課／保健福祉課
高校生鉄道通学費補助事業	自宅通学する高校生のJR通学定期券の購入費を助成	○	○	教育課／企画課
<b>3 森林を活かした拠点整備</b>				
大野台パーク総合整備事業（大野台公園構想・里山プレイパーク事業）	国体記念運動公園をスポーツグラウンド施設のみでなく、総合的な公園機能を持たせた施設として整備を進め、社会教育・社会体育施設の拠点としての利用促進を図る。	○	×	教育課
山っ子プロジェクト（森のようちえん構想）	子ども達に自然の中で自由に遊んでもらいながら、自然の素晴らしさや生きる知恵を学んでもらう。また異年齢交流の場として年代を超えたふれあい、伝統文化の継承が行われる。	-	×	企画課
<b>4 安心を感じられる基盤づくり</b>				
小さな拠点形成の推進	高齢者も安心して暮らし続けられるまちの形を、小さな拠点（コンパクトビレッジ）の形成とともに研究検討	○	○	企画課／保健福祉課
防災・防犯カメラ維持事業	安心安全のまちづくりを進めるための防災・防犯カメラを整備し維持	○	○	総務課
無料公衆無線LAN（Wi-Fi）の整備	公共施設等に無料公衆無線LANを整備し、利用者の利便性を図る。	-	○	企画課／教育課・総務課
防災拠点施設整備事業	災害発生時や緊急搬送等に万全な体制を期するため、各地区に緊急ヘリポート離着場を整備する。	○	○	総務課
飲料水兼用耐震性貯水槽設備の整備	大規模な災害発生時に備え、耐震性に優れた飲料水兼用の貯水槽を整備	×	×	総務課
	は、総合戦略の中で【主な事業】として掲げられた事業（＝重点事業）			

○ 実施  
- 未実施  
○ 継続、△ R3着手予定  
- 未定、× やらない方向

### 3. 第2期総合戦略の基本目標

#### 基本目標 1

#### しらかわの宝ものをしごとに変える

##### 現状と課題

本町の特徴の一つとして、町内への通勤者が多いことがあげられます。これは、農林業や建設業、それに関連する製造業など一定の地場産業があることを示しています。一方、美濃加茂市や可児市など多くの雇用が生まれている「地域の中心地」への利便性が低いことの裏返しでもあります。転出の理由についても「職業上」とする割合が高くなっています。

##### 基本方針

近隣自治体との通勤移動が少ない本町においては、内発的産業を育成することにより、地域でのしごと（なりわい）を創りだすことが必要となります。そのためには、森林や河川などの豊かな自然、お茶やトマトなどの農業といった地域資源を活用し、また、ITや設計等の地域に縛られないしごとにより、地域で働くための技を伝える施策が必要です。起業・就業支援に対して十分な支援を行い、挑戦できる場所を提供していきます。

**施策①：地域資源（緑）を活用した産業振興**

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
農地の集積率*	15%	20%
GAP・JAS認定団体数**	3団体	8団体
木材搬出量***	12,500 m <sup>3</sup>	15,000 m <sup>3</sup>
町内総生産（一人当たり）****	2,398 千円	2,830 千円

\*基準値は 2020 年度実績 目標値は 4 年間の合計数値

\*\*基準値は 2020 年度実績 目標値は 4 年間の合計数値

\*\*\*基準値は 2020 年度実績 目標値は最終年度数値（出所）白川市場の町内産木材取扱量

\*\*\*\*基準値は 2020 年度実績 目標値は最終年度数値（出所）市町村民経済計算（2020 年度）

**1 担い手の育成と農地の保全**

地域農業の未来図となる「人・農地プラン」を作成し、地域が中心となって農地を守る機運を高めるとともに、集落営農組織、トマト生産者、有機農業者や新規就農者などの担い手育成により守るべき農地の集積を進めます。

【主な事業】 農業委員会活動事業、農業組織育成事業、新規就農者育成事業

**2 ふるさとの恵みを使った特産品づくり**

食の安全、女心志向の高まりを受け、有機栽培や GAP が注目されています。白川産の農産物や旬の食材の付加価値を高めるため、新たな商品の開発に積極的に取り組む農業者などを支援します。

【主な事業】 農業組織育成事業

**3 白川茶の生産基盤を守る**

白川茶の生産農家の高齢化や日本茶離れによる需要低迷など厳しい状況にあるため「白川茶産地構造改革計画」を策定し、茶生産組合の体制整備や合理化に取り組むなかで、茶園整備など生産の効率化や観光業などと連携した茶園や茶摘みの風景の新たな活用方法など生産意欲の維持、農地の荒廃化防止に取り組みます。

【主な事業】 茶業振興対策事業

**4 農業関係施設の体制強化**

道の駅周辺施設の管理運営体制を見直し、将来に向けて持続できる体制を整備するため、関係施設が連携して管理運営する体制を構築し、経営の安定化を図ります。

【主な事業】 農業施設維持管理事業

## 5 森林整備の促進

森林境界の明確化、林道の整備、森林組合が中心となった森林の集約化により、森林整備の加速化を図り、木材生産の向上に努めます。新規林業者や事業者の育成を支援し、担い手の確保に取り組み、広大で豊かな町の森林を守り育てます。

【主な事業】 森林整備促進事業、林業担い手育成事業、林道整備事業

## 6 森林資源の活用

人工林の間伐や広葉樹林の整備により伐採した木材は、できる限りすべてを搬出し、住宅用材だけでなく、木工品への利用や、薪やチップなど再生エネルギーである木質バイオマス材への加工など、利用拡大を図るための調査研究に努めます。

【主な事業】 間伐材全量搬出事業、森林資源活用事業

## 施策②：挑戦できる場の提供（起業支援）

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
新規就農者数*	19人	27人
新規起業数（担い手の数）**	—	2人
サテライトオフィス誘致数***	—	2社

\*基準値は2020年度実績 目標値は4年間の合計人数

\*\*目標値は4年間の合計人数、\*\*\*目標値は4年間の合計人数

### 1 新規就農の推進

就農相談体制を強化し、就農相談から事業として成功するまでの継続的な技術指導、販売ルートの確立のほか農地や住宅のあっせんまでトータルでサポートすることで農業に取り組むために移住するという流れを創ります。

【主な事業】新規就農者育成事業

### 2 みんなのチャレンジ支援

地域の女性が自らのアイデアを元にしたビジネスを始められるよう、知識の習得と実践の場を提供します。住民等の出資団体による地域課題の解決のためのチャレンジを支援し、行政に頼らず自律的に地域が動くシステムを創りだします。

【主な事業】女性のチャレンジ支援事業、スモールビジネスチャレンジ交付金

### 3 働きたくなる情報の集約・発信

町内には未だ知られていない企業、事業所があり、それらの情報をわかり易く町民や町外へ伝え、求職、就業につなげるよう取り組みます。また短期的、季節的な仕事、年間を通じて働くことができない仕事をつなげ、安定した雇用を生み出す仕組みについて研究し、マルチワークの働き方も提案します。

【主な事業】自主放送制作放映委託事業、ふるさと就業情報提供事業

### 4 様々な働き方と暮らしの提案

働き方改革の一環としてサテライトオフィス、ワーケーションなどの誘致を実践し、地方の豊かな環境を求める企業、個人の希望に答えることで、本町の新たななりわいづくりを進めます。また、女性の社会進出を支え男性の子育てに関わる機会が増える取り組み、あるいは半農半Xな生き方など、多様な働き方、暮らし方ができるまちを目指します。

【主な事業】なりわいづくり創出事業

**基本目標 2****しらかわで あんきに子育て あんきに暮らす****現状と課題**

本町では、子育て応援給付金や18歳までの医療費無料化など、金銭面の補助制度は充実しており、子育て世代へのアンケート調査でも、その点の満足度は高くなっています。一方で、学童保育など共働き世帯を支える支援については不十分との声も聞かれました。また、1学年の人数が減少し、一部では複式学級となっている小学校もみられます。こうした、教育サービスの提供が不十分であると感じられることや産婦人科、小児科など医療面での不安がさらなる転出を招くといったことも懸念されます。

本町は広域に集落が点在しており、買い物や通院などで車を利用する機会は多くなります。しかし、学生や高齢者など交通弱者にとっては公共交通が重要な移動手段になります。高齢者福祉や障がい者福祉に関しては、こうした交通面も含め、日常生活に支障を生じさせず、かつ自立した生活を営めるような取り組みが必要になります。

**基本方針**

人口減少は当面避けようのない現実です。そのような中、子どもや高齢者、障がい者など地域で生活を営むあらゆる人が安心して生活できる環境づくりをソフト、ハード両面で進めていきます。

## 施策①：生活支援（子育て支援・高齢者支援）の充実

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
子育て支援センター利用者数*	3,500人	2,500人
健康寿命**	男性 77.6 歳 女性 84.7 歳	延伸
出生数***	24人	30人

\*基準値は 2020 年度実績 目標値は最終年度数値

\*\*基準値は 2020 年度実績

（出所）KDB「平均自立期間」要介護 2 以上の 95%信頼区分の年次推移で評価

\*\*\*基準値は 2020 年度実績 目標値は最終年度数値

### 1 途切れない子育て支援・子育てしやすい環境づくり

妊娠期から子育て期の途切れない支援体制を図るため妊娠初期から出産前後や、乳幼児の成長段階において各種関係機関で親子を見守り、保護者（母親）の精神面を含めたきめ細やかな支援を行います。また、白川町で安心して子育てができるように、子育て支援センターが子育てする母親が安心して訪れることができる身近な相談場所となるように、乳幼児学級や各種イベントの開催など進めていきます。

【主な事業】 妊婦健康診査費助成事業、子育て応援給付金、子育て支援センター運営事業

### 2 高齢者が生きがいを持ちあんに暮らせるまち

高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、その能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、医療・介護・住まい・生活支援・介護予防など包括的ケアの視点を持って支援することで高齢者が生きがいを感じながら、安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

【主な事業】 健康づくり推進事業、高齢者世帯見守り事業

### 3 出会いサポートの推進

出産・子育ては、男女の出会いから結婚の先につながっているものです。出会いの場を大切な機会としてとらえ、若年層の同窓会開催を奨励します。また、婚活ツアーなどに取り組むことで、出会いサポートに関わる人（支援する人、受ける人）を増やしていきます。

【主な事業】 結婚促進事業、同窓会開催奨励事業

## 施策②：生活基盤の見直し・整備・拡充

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
公共交通の年間利用者数*	47,704 人	42,000 人
白川町の強靱化度**	42 点	53 点以上
I C Tを活用した取り組み件数***	2 件	6 件

\*基準値は 2020 年度実績 目標値は最終年度数値

\*\*基準値は 2020 年度実績 目標値は最終年度数値

\*\*\*基準値は 2020 年度実績 目標値は 4 年間の合計数値

### 1 地域の社会教育施設等の機能強化、見直し

図書館（楽集館）、公民館、ふれあいセンターなど社会教育施設の機能を強化し、老若男女あらゆる地域住民が集う地域コミュニティの核となる場所となるようにしていきます。例えば、学童保育を空き教室や公民館等で実施すること、空き教室で地域活動、公開講座を実施することも検討します。

【主な事業】 公民館活動推進事業

### 2 誰もが気軽に「おでかけ」できるまち

地域住民の暮らしに必要とされる公共交通であり続けるため、それぞれの地域の実情にあった運行に見直しを続けることで「地域の足は地域で守り育てる」意識の醸成を図ります。通勤、通学や通院といった必要な移動だけでなく、行きたくなる場所、コトといった暮らしを豊かにするまちづくりとの連携やみのかも定住自立圏域の市町村と連携し、圏域内の移動がより便利になる仕組みづくりに取り組みます。

【主な事業】 公共交通対策事業

### 3 あらゆる分野で最新技術を活用

society 5. 0 の実現を図るためには、日々刻々と進展する技術革新社会に対応する必要があります。5 G 普及に伴い、I T 基盤の整備を進めます。マイナンバー制度の浸透やキャッシュレス決済の普及など、国が進める住民サービスの向上の施策に応じ、I O T、ロボット、A I などの先端技術の活用を各分野で進めていきます。

【主な事業】 I C T 推進事業

### 4 安心を感じられる基盤づくり

災害を未然に防ぐための防災対策は、すべての分野と関連しているため、「白川町国土強靱化地域計画」に沿って取組んでいくこととし、合わせて「白川町地域防災計画」の見直しを行っていきます。また、災害が起きた場合の被害を最小限に抑えるための減災対策は、自主防災活動への支援、避難所機能の強化、異業種間との災害時応援協定の締結や町内民間事業者との連携強化に取組んでいきます。

【主な事業】 防災減災対策推進事業、避難所機能強化事業、庁舎維持管理事業

**基本目標3****しらかわ人（びと）を育み しらかわを未来に伝える****現状と課題**

前述の通り、多くの中高生が地域を誇りに思い、できれば町内に残りたいという気持ちはあるものの、町内で働きたい職場、仕事が見つからないことから、町外居住を選択せざるを得ないのが現状です。それが、後継者不足、地域の担い手不足、地域の元気の喪失につながっている面もあります。そうした現状を打破するには、次代を担う子どもたちに「仕事がないから帰れない」ではなく「仕事を創りに帰る」という強い思いを持ってもらうような教育が重要となります。

今後、人口減少が進展することにより、自治会や子ども会、消防団など小地域で地域コミュニティを支える構成員も減少し、一部では従来の住民活動の維持が困難な地域も出てくるのが想定されます。大人から子どもまで住民一人ひとりが、地域の課題を「自分ごと」と捉え、「自分たちの白川は自分たちで守る」という意識の醸成が必要となってきます。

**基本方針**

将来の地域の担い手となる小中高校生に対する地域教育も重要と考えます。「ふるさと教育」を通じ、多くの人や自然、歴史、文化などへの関わりを深めることで郷土愛の醸成を図ります。その上で地域の課題にしっかりと向き合い、地域に対して何ができるかを自分なりに考え、この白川の地で仕事を創出することができる「しらかわ人（びと）」を育てていきます。

また、子ども達だけでなく、地域住民一人一人が地域の抱える課題に向き合い、何ができるかを考えていくことにより、地域の活力を生み出していきます。そうした取り組みを継続することで、白川の魅力を高めること、白川の地で仕事生まれること、白川に人が集まることにつなげていきます。

## 施策①：地域人材の育成・地域教育の充実

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
子どもの良さを伸ばす経験の機会	—	60%
地域行事への参加意欲	—	80%
「ふるさと白川」のよさの認識	—	70%
「ふるさと白川」の課題の認識	—	60%
課題解決（持続可能な社会の実現）の意欲	—	50%

目標値は全て最終年度数値

（出所）「町独自の調査による」（毎年10月に実施。小学5年生から中学3年生及び保護者を対象）

### 1 清流白川への回帰

地域住民が先生となり、町内の小学生に対して、伝統行事、遊びを通じた体験活動を行い、郷土愛の醸成を図ります。

【主な事業】清流白川への回帰事業

### 2 大学との連携による人材育成

大学と連携し、本町をキャンパスとして農林業人材の育成を進めます。また、大学生とともに町内の小中高生がものづくりや流通、小売りを体験する、子ども起業体験プログラムを実施するなど、課題解決型地域実践学習を推進します。

【主な事業】域学連携事業、早期起業家育成事業

### 3 少人数のメリットを最大限活かす特色ある教育活動の推進

少人数ならではの一人ひとりの子どもに寄り添える教育を更に深めるとともに、ICTを活用した先駆的な教育にも積極的に取り組みます。各校それぞれの特色ある教育活動を推進するとともに、各校合同による教育活動を有効に活用するなど、少人数のデメリットを克服していきます。

【主な事業】特色ある教育活動推進事業、ICTを活用した教育の質の向上、合同教育活動支援事業

### 4 地域への愛着と誇りを育てるふるさと教育の推進

文化財保護事業、社会教育活動事業、青少年育成事業などを通じ、子ども、保護者、地域がそれぞれ、地域の絆の大切さ、ふるさとへの愛着や誇りに気づき、一人ひとりが地域を支える人材に育つふるさと教育を推進します。

【主な事業】青少年育成事業、社会教育活動事業

## 施策②：地域コミュニティ活動の推進

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
自治会加入率*	86%	86%以上
公民館講座参加人数**	2,720人	2,500人

\*基準値は2020年度実績 目標値は最終年度数値

\*\*基準値は2020年度実績 目標値は最終年度数値

### 1 みんなで地域をつくるまち

地域づくりのスペシャリストの助言を受け、町内外のさまざまな人に参加してもらいながら、イベントやワークショップを開催し、みんなの参加による地域づくりを進めます。

【主な事業】地域クリエイター養成事業

### 2 地域コミュニティの交流拠点の創造

町民会館、各地区ふれあいセンターなどの一角や自治会公民館をコミュニティカフェとして開放し、さまざまな人が集い、活動できる拠点として提供していきます。

【主な事業】コミュニティカフェ開設事業

### 3 地域を守るきずなの強化・支援

自主防災、獣害対策、生活環境問題、自然環境の保全、地域の伝統文化の伝承、高齢者世帯の見守りなど、地域全体で取り組まなければならない課題が山積しています。住民同士が対話を深め、みんなで課題解決に向けて取り組めるよう地域組織への支援を推進します。

【主な事業】景観整備事業、共助のまちづくり事業

## 基本目標 4

## しらかわへ行こう しらかわへ帰ろう

**現状と課題**

2009年の白川高校の廃校で町内の高校がなくなり、高校進学者は町外の高校へ長時間かけて通学しています。大学となるとより遠方となり、移動理由別年齢階級別転入転出差をみても、10代において学業上の理由での転出超過がみられます。

また、中高生へのアンケートでは、多くの中高生が地域を誇りに思い、できれば町内に残りたいという気持ちはあるものの、町内で働きたい職場、仕事が見つからないことから、町外居住を選択せざるを得ない状況がうかがえます。上記の調査でも、高校・大学を卒業した就業のタイミングである10代～20代において職業上の転出超過が目立ちます。

本町には「白川茶」や「白川ハム」「トマト」などの特産品、「クオーレふれあいの里」や「ピアチエーレ・てまひまの店・野菜村チャオ」と一体となった道の駅、「大山白山神社」などの文化遺産、明日の宝ものに認定された「美濃白川四季彩街道」など数多くの観光資源が存在します。しかし、東海北陸自動車道の整備による車の流れの変化などの影響もあり、交流人口は伸び悩みがみられます。

**基本方針**

移住・定住を推進するための体制を整備し、「白川に住みたい」「白川に戻りたい」という人の増加と実現のための障壁を取り除く取り組みを進めます。

白川町の強みである豊かな自然を活かした魅力ある観光を推進するため、町内の観光資源の発掘・充実・連携を図るとともに、周辺自治体とも連携し広域観光を進め、交流人口の拡大を図っていきます。また、できるだけ多くの人に、さまざまな形で本町に関わってもらい、その過程で白川ファンの増加を図っていきます。

## 施策①：移住やUターンの促進

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
転入転出の差*	△103人	△30人
空き家の解消**	13戸	80戸
移住者の人数**	25人	120人

\*基準値は2020年度実績 目標値は最終年度数値

\*\*基準値は2020年度（過去6年間の平均値）実績 目標値は4年間の合計数値

\*\*\*基準値は2020年度（過去5年間の平均）実績 目標値は4年間の合計数値

### 1 移住・交流の推進

移住交流サポートセンターを拠点にして、移住者や交流人口の増加を図るための取り組みを推進します。白川町に縁があり移住を検討されている人に対しては、単なる田園回帰による人の流れや農山村移住ではなく、感心や共感による白川町への滞在を促し、やがて移住への思いにつながります。移住希望者に対するフォローが行えるよう「移住コーディネーター」や「移住支援団体」の育成を進めます。

### 2 空き家・空き店舗の有効活用

町内の空き家、空き店舗の有効活用を図るため所有者に対する普及啓発を推進します。また、利活用が可能や空き家や空き店舗についての情報発信の充実を図るほか、サポートセンターによる「空き家サブリース」など積極的な住宅確保に努めます。

### 3 危険空き家の対策

空き家のうち「危険空き家」に該当する恐れのあるものについては、速やかな改善を図るため所有者に対し、除却、修繕等の措置をとるよう助言又は指導を行うとともに、白川町空き家対策協議会と連携を図ります。

【主な事業】移住定住・交流推進事業

### 4 地域人材のふるさと定着促進

大学や専門学校等に進学した際の奨学金の返還金に対する助成を行うことで、能力を高めた地元出身者のUターンを促していきます。

【主な事業】地域人材ふるさと定着促進事業

## 施策②：交流人口の拡大・白川ファンの増加

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
町内観光入込客数*	253,163 人	273,400 人
体験型プログラムによる宿泊者数**	—	338 人
町に関わりのある人口（応援人口）の数***	1,340 人	2,140 人
ふるさと納税の納税額****	35,000 千円	43,000 千円

\*基準値は 2020 年度実績 目標値は最終年度数値（出所）県観光入込客数調査

\*\*目標値は 4 年間の合計人数、\*\*\*基準値は 2020 年度実績 目標値は最終年度数値

\*\*\*\*基準値は 2020 年度実績 目標値は最終年度数値

### 1 ふるさととつながる人口の増加

ふるさとを離れた人達が集う同窓会などの機会を活用し、ふるさとの魅力を再認識してもらい、ふるさととのつながりを強化、関係人口の増加につなげます。

【主な事業】同窓会開催奨励事業、成人祝賀事業

### 2 白川ファンの拡充

美濃白川ふるさと会をはじめとした白川ファンの拡充や、ふるさと納税等により白川町を町外から応援してもらえる仕組みづくりを進めます。また、クラウドファンディングを活用し、町内の賑わい創出や企業版ふるさと納税の活用につなげていきます。

【主な事業】白川ファンクラブ創設事業、ふるさと納税推進事業

### 3 タウンプロモーションによる町の魅力向上

インターネットや SNS、ケーブルテレビなどを活用し、本町のプロモーション活動を推進します。観光と広報、販売を一体的に考える仕組みを構築し、つながりを生むタウンプロモーションにより町の魅力アップに努めます。

【主な事業】広報広聴事業、地域おこし企業人活用事業

### 4 グリーンツーリズムの推進

白川町ならではの体験型プログラムの開発として、白川町グリーンツーリズム協議会が中心となり「五感を刺激する観光資源」として白川町特有の文化・芸能などとも連携した体験型プログラムを提供します。

【主な事業】観光振興事業

4. 具体的な取り組み

(1) 基本目標 1 しらかわの宝ものしごとに変える

施策④ 地域資源（緑）を活用した産業振興		
事業名	内容等	所管
1 担い手の育成と農地の保全		
農業委員会活動事業	地域農業の未来図となる「人・農地プラン」を作成し、地域が中心となって農地を守るとともに、農地の集積、集約化を図る。	農林課
農業組織育成事業	農業団体等の担い手育成を図る。	農林課
新規就農者育成事業	新規就農者等の育成のための支援を進める。	農林課
2 ふるさとの恵みを使った特産品づくり		
農業組織育成事業	町内産農産物などの付加価値を高めるため、新たな商品の開発に積極的に取り組む農業者などを支援する。	農林課
学校給食地産地消推進	学校給食での県内産、地場産食材の使用量の増加を図る。	教育課
3 白川茶の生産基盤を守る		
茶業振興対策事業	「白川茶産地構造改革計画」を策定し、茶園整備など生産の効率化や観光業などと連携した茶摘み風景の新たな活用方法など生産意欲の維持、農地の荒廃化防止に取り組む。	農林課
4 農業関係施設の体制強化		
農業施設維持管理事業	道の駅周辺施設の管理運営体制を見直し、関係施設が連携して体制を構築することにより、経営の安定化を図る。	農林課
5 森林整備の促進		
林業担い手育成事業	林業者が組織する協議会や森林組合に対する活動支援を行い、担い手の育成と確保を図る。	農林課
林業関連技術者就学資金貸付事業	町内林業関連就業者を確保するため就学資金の貸し付けを行う。	農林課
林道整備事業	効率的な森林整備のための林道整備を行う。	農林課
森林整備促進事業	森林の集約化及び森林境界の明確化による効率的な木材生産システムを構築する。	農林課
町有林整備事業	利用間伐や再造林など地域のモデルとなるような事業に積極的に取り組み、木材有効活用及び環境保全に努める。	農林課
6 森林資源の活用		
森林資源活用事業	間伐材や広葉樹の有効活用を図るための調査研究に取り組む。	農林課
間伐材全量搬出事業	利用間伐推進のため、間伐材の全量搬出と、仕分に対し支援を行う。	農林課
産直住宅建設・普及事業	白川町産材や岐阜県産材の利用促進のため行う活動への支援をする。	農林課

施策 2 挑戦できる場の提供（起業支援）		
事業名	内容等	所管
1 新規就農の推進		
新規就農者育成事業	NPOによる就農相談体制づくり、就農者サポート体制づくり、就農希望者への研修体制、就農後のサポート体制の整備を推進する。	農林課
2 みんなのチャレンジ支援		
女性のチャレンジ支援事業	女性起業講座開催、スモールビジネスチャレンジ交付金等により、女性の新しいしごとの開拓を支援する。	企画課
3 働きたくなる情報の集約・発信		
自主放送制作放映委託事業	ケーブルテレビによる自主放送制作を活用し、従来の町の話題などの情報番組に加え、しごと情報の発信を行う。	企画課
ふるさと就業情報提供事業	商工会、ハローワークと連携し、就業希望者が、しごと情報を簡単に入手できる仕組みをつくらせたり、学生向けの町内企業限定就職説明会を開催する。	企画課
特定地域づくり事業協同組合事業	短期的、季節的な仕事、年間を通じて働くことができない仕事をつなげ、安定した雇用を生み出す仕組みについて研究する。	企画課
4 様々な働き方と暮らしの提案		
なりわいづくり創出事業	サテライトオフィスの誘致やワーケーションの推進などコロナ禍における様々な暮らし方を提案するとともに、本町の新たななりわいづくりを進める。	企画課
創業支援事業	小規模の起業や町外から移って創業する場合等に事務所・工場の初期投資費用や従業員寮整備費用の一部を助成する。	企画課
小規模起業家支援融資利子補給事業	小規模企業家が融資を受けた際の利子補給を行う。	企画課

(2) 基本目標 2 しらかわで あんきに子育て あんきに暮らす

施策 1 生活支援（子育て支援・高齢者支援）の充実		
事業名	内容等	所管
1 途切れのない子育て支援・子育てしやすい環境づくり		
妊娠～育児までの健康相談、健診の推進	妊娠中の保健指導・相談、訪問乳幼児健診により、子どもと母親にやさしい保健体制を推進する。	保健福祉課
妊婦健康診査費助成事業	子どもを産み育てていく妊婦の負担軽減のため費用を助成する。	保健福祉課
新生児聴覚検査費用助成	健康な乳幼児の発育のため費用を助成する。	保健福祉課

特定不妊治療費助成	特定不妊治療費用を助成する。	保 健 福 祉 課
町内医療機関の充実と存続	医療機関の存続、専門医の確保や設備の充実に向けた支援体制を維持する。	保 健 福 祉 課
子育て応援給付金	未来の地域づくりを担う子どもの出生と健やかな成長を願うため出産のお祝いと子育てに対する応援金として給付する。	町民課
高校卒業まで医療費無料化	乳幼児から高校まで、医療費の個人負担をなくし、子育て世帯を支援する。	保 健 福 祉 課
保育の充実（特別保育等）	障がい保育、延長保育、一時預かり保育等により子育て世帯を支援する。	教育課
子育て支援センター事業（子育て支援機能の充実・子育て相談等）	子育て支援センターちびっこひろば（白川北保育園内）を設置し、親子の友達づくり・交流の場を提供する。	教育課
児童家庭相談事業（発達相談・児童虐待防止）	子育ての悩み・子どもの発達等子育て全般の相談が受けられる体制を整備する。	教育課
町営住宅家賃補助	子育て世代の経済的負担の軽減策として支援する。	建 設 環 境 課
コミュニティママ子育てサポート事業	仕事や子育てをしている保護者が安心して子供を産み育てることができるよう地域で子育てを助け合う。	教育課
子ども家庭総合支援拠点事業	要保護児童対策地域協議会の調整機関である子育て支援係に専門職を配置し、児童虐待防止を図る。（H29.4～義務化）	教育課
2 高齢者が生きがいを持ちあんに暮らせるまち		
心の健康相談委託、窓口紹介	住民の心の健康を守るためメンタルヘルス全般に関する相談業務を実施する。	保 健 福 祉 課
健康づくり推進事業	健康寿命を延ばす為の健康教育、個別相談、健康診査を実施する。	保 健 福 祉 課
遠隔医療システム導入事業	I C Tシステムを活用したシステムを検討する。	保 健 福 祉 課
福祉技術者養成修学資金	町内の福祉技術者確保のため、研修会参加による資格取得希望者に補助金交付を実施する。	保 健 福 祉 課
配食サービス	見守りを兼ね高齢者世帯・独居世帯に対して栄養バランスのとれた食事を提供する。	保 健 福 祉 課
高齢者世帯見守り事業	社会福祉協議会のあんしん電話の活用や、配食サービスでの見守り、近隣の声かけなど地域での共助などを推進する。日常生活圏域に協議体を設置し、困り事の解決の為の支援を行う。	保 健 福 祉 課
認知症施策の推進（認知症施策推進大綱の推進）	認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けることができるための地域づくり。地域ケアシステ	保 健 福 祉 課

	ムの構築	
生活援助従事者研修事業	生活援助中心型のサービス従事者を育成し、高齢者世帯を地域全体で見守る。	保健福祉課
3 出会いサポートの推進		
結婚対策推進事業	出会いの機会を増やす。町内女性を対象としたイベント等の開催、コミュニケーション能力開発の推進、若年層の同窓会奨励、マップラン婚活ツアー開催等を行う。	企画課

施策 2 生活基盤の見直し・整備・拡充		
事業名	内容等	所管
1 地域の社会教育施設等の機能強化、見直し		
スポーツレクリエーションによる交流	多種多様なスポーツ競技、サークルとして活動する軽スポーツのほか、高齢化する町民の体力・健康維持には総合型スポーツクラブによる教室の開催やスポーツ環境の整備は必要不可欠であり、医療機関や保健福祉課などの連携を始めとした行政支援を図る。	教育課
公民館活動推進事業	公民館での講座などを中心に、時代とニーズにマッチした学びの場を提供し、身に付けた知識、技術を広める機会の創出を図る。	教育課
スポーツ振興事業	スポーツを通じたまちづくり、人材育成を進めるため、町スポーツ推進委員、各地区スポーツ推進員が中心となって地域スポーツを盛り上げ、地域コミュニティの醸成を図る。	教育課
2 誰もが気軽に「おでかけ」できるまち		
移動販売・宅配支援の調査研究	商工会が主体となり、買い物支援対策に対する組織づくりを検討する。	企画課
公共交通対策の推進	従来の路線バス対策にとどまらず、通学、通院、交通弱者、買物弱者の支援など、教育、福祉などあらゆる面から暮らす人々にとって役に立つ新しい公共交通のありかたを検討する。	企画課
高校生 J R 通学費補助事業	自宅通学する高校生の J R 通学定期券の購入費を助成する。	教育課
3 あらゆる分野で最新技術を活用		
I C T 推進事業	Society5.0 社会の実現のために日々刻々と進展する技術革新社会に対応するため IOT、AI、ロボットなどの最新、先端技術を活用した取り組みを各分野で展開する。	企画課
4 安心を感じられる基盤づくり		
小さな拠点形成の推進	高齢者も安心して暮らし続けられるまちの形を、小さな拠点（コンパクトビレッジ）の形成とともに研究検討する。	企画課
防災・防犯カメラ維持事業	安心安全のまちづくりを進めるための防災・防犯カメラを整備し維持する。	総務課

無料公衆無線LAN (Wi-Fi) の整備	公共施設等に無料公衆無線LANを整備し、利用者の利便性を図る。	企画課
防災拠点施設整備事業	災害発生時や緊急搬送等に万全な体制を期するため、各地区に緊急ヘリポート離着場を整備する。	総務課

(3) 基本目標3 しらかわ人(ひと)を育み しらかわを未来に伝える

施策1 地域人材の育成・地域教育の充実		
事業名	内容等	所管
1 清流白川への回帰		
清流白川への回帰事業	町内の小学生に対し、伝統行事、遊びを通じた体験活動を行い郷土愛の醸成を図る。	企画課
自然体験・交流事業	未来のふるさと美濃白川を愛する人材の育成には、子どもの頃からの環境教育が必要であり、山林や河川の保護などの活動しているどんぐり会を始めとしたNPO活動団体や森林組合、各地区営農組合等の連携により公民館講座等を活用しての自然体験活動を実施する。	教育課
2 大学との連携による人材育成		
域学連携事業	白川町をキャンパスとして、将来白川町で活躍する人材の育成を推進する。	企画課
早期起業家育成事業	小中高生がものづくりや流通、小売りを体験する起業体験プログラム及び職業体験を実施する。	企画課
3 少人数のメリットを最大限活かす特色ある教育活動の推進		
特色ある教育活動推進事業	小中学校が、それぞれ特色ある教育活動を推進するため、その実践にかかる経費を補助する。	教育課
ICTの活用による教育の質の向上	学校に電子黒板やタブレット端末を配置し、授業のユニバーサルデザイン化等を推進するなど、ICT機器を活かして教育の質の向上を図る。	教育課
少人数指導教育の推進	少人数ならではのきめ細やかな教育により、「その子のよさ」や「その子らしさ」を見つけ伸ばす教育を推進する。	教育課
文化事業振興	町民の心の豊かさの向上を図るためには、本物のプロの演奏や作品、講演に触れる機会を提供し、特に小中学校生の情操教育の一環としても大きな意義がある小・中学生芸術鑑賞教室では、古典落語、管弦楽、ミュージカル等幅広い芸術と触れ合う機会を提供することで、多感期にある子ども達の育成を図る。	教育課
4 地域への愛着と誇りを育てるふるさと教育の推進		
青少年育成事業	子ども達が地域社会の一員として積極的に活動できる環境作りのため、青少年健全育成大会の開催や各地区青少年推進協議会	教育課

	と連携し、啓発標語の募集、あいさつ運動、地域伝統行事の継承活動などを行う。	
社会教育活動事業	現代の豊かな生活と引き換えに薄れ掛かっている家族や地域の絆、仲間意識などの道徳に代表される社会教育の基本的な姿勢を町民や子ども達にもう一度考えて頂けるよう社会教育主事や社会教育委員を設置し、啓発活動や地域集会、活動を支援する。	教育課
青少年交流・リーダー育成事業	単位子ども会の存続が難しくなっている状況において地区を超えた活動を行えるよう行政支援や連絡協議会での連携を模索し対応を図るほか、ジュニアリーダーズクラブの活動が活発化できるよう研修機会を増やすなど組織運営の支援を図る。	教育課
青雲のつどい実施事業	親元を離れ共同生活を行うことで、現在の生活に感謝し、自己を見つめ直し、将来を考える機会を与える有意義な事業であり、参加した子ども達の立志の芽が健やかに成長できるよう支援を図る。	教育課
家庭教育学級推進事業	家庭及び地域の教育力の向上により心身とも健全な子どもの成長を促すため、公立学校と連携し、各地区13学級で研修会・視察等を開催し保護者の教育に努める。	教育課
図書館運営事業	平成26年に「読書のまち宣言」を行い、読書を通じた教育を推進するため公立図書館である美濃白川楽集館の管理運営を図るほか各小・中学校図書館とも連携し読書を通じた教育の推進を図る。	教育課
文化財保護事業	新たな文化財の調査、研究及び発掘を実施し宝物として未来に伝える事業のほか、現存する価値ある文化財の多くは個人の所有に委ねられており、その保存や維持管理についても行政的支援を図る。	教育課

施策2 地域コミュニティ活動の推進		
事業名	内容等	所管
1 みんなで地域をつくるまち		
地域クリエイター養成事業	様々な分野の地域づくりスペシャリストを招き、地域のリーダーを養成する。	企画課
NPO、ボランティア活動の支援	まちおこし推進事業補助金（NPO等スタート・ステップアップ事業）など、地域貢献団体の活動を強化支援する施策を推進する。	企画課
2 地域コミュニティの交流拠点の創造		
自治協議会・自治会運営事業	コミュニティ活動の推進・強化のための助成や多世代活用の促進を図る。	総務課

コミュニティカフェ開催事業	町民会館、各地区ふれあいセンターや自治会公民館などを活用し、コミュニティカフェとして開放する。	企画課
3 地域を守るきずなの強化・支援		
景観整備事業	ぎふ・リバーサポーター、ぎふ・ロードサポーター事業への活動を支援する。	建設環境課
共助のまちづくり事業	「みんなでやろまいか」を基本目標に、防災、環境、伝統文化など地域の課題に向けての取り組みを支援する。	総務課
消防協力隊・OB隊、自主防災組織の強化	消防団員の町内在住者及び新規入団者の減少に伴い、不足する消防力を補完するため元消防団員等により構成される機能別消防団を設置し、自主防災組織の強化を図る。	総務課
ゴミ減量環境美化事業、監視・啓発事業	資源回収への協力、コンポストの斡旋、ごみ減量化に対する町民意識の高揚、自家焼却の禁止、生ごみ処理の方法について指導啓発する。	建設環境課
文化団体育成事業	文化協会や各種サークル等による様々な活動は、町民の心の豊かさの高揚のためには必要であり、合わせて地域に伝わる伝統芸能の継承がされていくよう各種団体の育成支援を図る。	教育課
芸能の里支援事業	地歌舞伎を始めとした、地域に根ざした伝統文化や芸能は後世に伝えるべき貴重なものであり多くの課題があるなか、その継承を守るための人材確保や育成、保護に対して行政支援を図る。	教育課

(4) 基本目標4 しらかわへ行こう しらかわへ帰ろう

施策1 移住やUターンの促進			
事業名	内容等	所管	
1 移住・交流の推進	2 空き家・空き店舗の有効活用	3 危険空き家の対策	
農林業体験の推進	茶摘み・手揉み体験など農業体験、間伐などの林業体験を通して、本町の魅力を情報発信することにより交流・移住人口の増加を図る。	農林課	
移住交流サポートセンターの運営	都市部からのI U Jターン者の移住相談窓口として移住関連の情報発信、各種サポートを実施することにより移住を推進する。	企画課	
消費者と生産者の交流	N P O法人、有機農業者を中心に消費者との交流会を開催し、本町の魅力を情報発信することにより交流人口の増加を図る。	企画課	
農園付きコテージの活用	農園付きコテージの活用により、本町の魅力を情報発信することにより交流・移住人口の増加を図る。	企画課	
空き家バンクと移住定住者用住宅の整備	空き家バンクの運営及び移住者に対する住宅家賃、改修費用の補助等により、住まいに関する支援を図る。	企画課	

水源の里住宅新築等支援事業	定住につながる住宅新築や取得を支援する。子育て世代に対する補助金加算など制度の充実を図る。	企画課
移住者定住者支援補助事業	空き家の家賃補助、改修費補助等を行う。移住定住を一層推進するため、空き家の買取りと改修を行い、移住者向けに斡旋、一定期間後に無償譲渡するなど空き家を有効に活用した住宅の整備や空き家の解体費を助成することで、未利用空き家等を更地として提供できるような取り組みを検討する。	企画課
4 地域人材のふるさと定着促進		
地域人材のふるさと定着促進事業	大学、短大等の奨学金返還金を助成し、U I J ターンによる若い人材の確保を図る。	企画課
保健技術者養成修学資金	町内就業医療従事者を確保するため修学資金の貸付けを行う。	保健福祉課

施策 2 交流人口の拡大・白川ファンの増加		
事業名	内容等	所管
1 ふるさととつながる人口の増加		
同窓会開催奨励事業	ふるさとを離れた人達が集う同窓会などの機会を活用し、ふるさとの魅力を再認識してもらい、ふるさととのつながりを強化、関係人口の増加につなげる。	企画課
成人祝賀事業	成人を祝い、自己と町の未来を考え、U ターンなどの地域活性化に寄与する事業として開催する。	教育課
2 白川ファンの拡充		
白川ファンクラブ創設事業	美濃白川ふるさと会をはじめとし、町外から白川町を応援してもらえる仕組みづくりとして白川ファンの拡充を図る。	企画課
ふるさと納税推進事業	ふるさと納税制度により白川町を町外から応援してもらえる仕組みづくりを進める。また、クラウドファンディングを活用し、町内の賑わい創出や企業版ふるさと納税の活用を研究する。	企画課
3 タウンプロモーションによる町の魅力向上		
美濃白川四季彩街道の観光ルート整備	四季を彩る景色・美味しい料理・色々なイベントを通して美濃白川四季彩街道の魅力を SNS などを利用して発信する。	企画課
町 P R 及び産品販売 W e b サイト構築事業（町内商業買い物支援サービス、広告サービス）	プロモーション映像の配信や町内の特産品の P R を兼ねたショッピングサイトの構築に向けた調査研究、ふるさと納税サイトの運営を行う。	企画課
4 グリーンツーリズムの推進		
観光振興事業	白川町ならではの体験型プログラムの開発として、白川町グリーンツーリズム協議会が中心となり「五感を刺激する観光資源」として	企画課

	白川町特有の文化・芸能などとも連携した体験型プログラムを提供します。	
--	------------------------------------	--